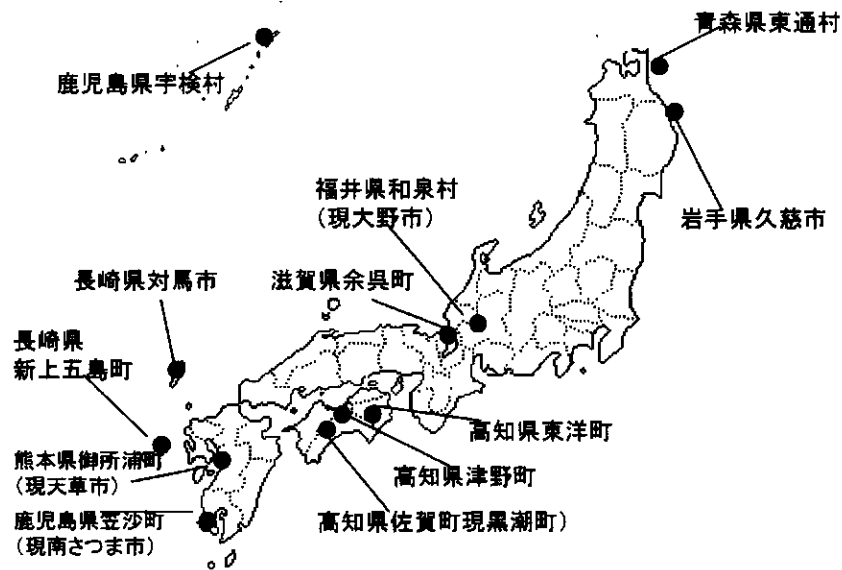


# 高レベル放射性廃棄物処分場への誘致の動きが表面化した地域 2007.1.15



## 1. 福井県和泉村(現大野市)

2003年4月21日、村職員と村議がNUMOから説明を受ける。  
同年4月30、村の担当者断念を表明。

## 2. 高知県佐賀町(現黒潮町)

2003年12月、町民有志が議会に誘致を請願。  
・知事、「私の在任中は、こうした施設を受け入れるつもりはない」  
2004年9月16日、町議会で請願を不採択。

## 3. 熊本県御所浦町(現天草市)

2004年3月、町議会在町長に誘致を要請。  
・知事、「腰が抜けるほど驚いている。」  
同年4月7日、町長応募しないと判断。議会、要請を取りやめ。

## 4. 岩手県久慈市

2004年、2005年の2回、市議会で検討を促す質問あり。  
2006年12月22日、低レベル放射性廃棄物誘致問題関連で判明。

## 5. 鹿児島県笠沙町(現南さつま市)

2005年1月4日、町長誘致表明。・知事、「県としては賛成できない」  
同年1月7日、町長誘致断念。

## 6. 長崎県新上五島町

2005年6月、東京に本部を置くNPOの紹介で町のNPOが六ヶ所村を視察。  
・知事、「被爆県として理解に苦しむ」

## 7. 滋賀県余呉町

2005年8月、議会全員協議会で応募検討を表明。  
同年10月27日、町長が断念を表明。  
2005年8月8日、町長、議員に再度応募を検討を表明。  
同年12月6日、住民の理解が得られないとして断念。  
・知事、「近畿1400万人の水源地ととして」ふさわしくない。

## 8. 鹿児島県宇検村

2006年6月と7月、村の要請でNUMOが職員、議員、商工会役員らに説明。  
同年8月25日、撤回表明。  
・知事、「技術的に納得できるところまでいっていない。」

## 9. 高知県津野町

2005年末、議会がNUMOから説明を受ける。  
2006年9月、町民から応募と反対の陳情3件が提出された。  
同年10月30日、議会は応募と反対の陳情を不採択。町長、終結宣言。

## 10. 高知県東洋町

2006年8月8日、町がNUMOの説明を受ける。  
同年9月8日、町と議会が応募に向けて検討を続けることで合意。  
実は、2006年3月20日に応募書を提出したが07.1.15に不受理発覚。

## 11. 長崎県対馬市

2005年以降住民がNUMOを呼んで何回も説明を受けた。  
2006年12月1日、市議と住民がNUMOから説明を受けたと報道された。

## 12. 青森県東通村

2007年1月1日、東奥日報が東通村村長の「自分たちの地域で出た廃棄物は、自分たちの地域で処理するーという考え方に基づいて」対処すべきとの発言を報道。  
・知事、青森県を処分場にしないという原則を堅持する。